

【警 告】

- 吐水状態を切り替えた場合、吐水温度が変化することがありますので、必ず手で温度を確かめてください。やけどをするおそれがあります。
- 給気圧が高い地域でご使用の時は、確実に手などで支持してご使用ください。床に置いたシャワーヘッドが暴れたり、シャワーハンガーから落下してけがをする恐れがあります。

【注 意】

- 熱湯（60℃以上）を通さないでください。破損・変形・変色することがあります。安全のため45℃以下でのご使用をおすすめします。
- 2ハンドル・シングルレバー混合栓とセットで使用される場合、給湯器の給湯温度は42℃より高温で使用しないでください。やけどをする恐れがあります。
- 中性洗剤以外は使用しない。中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。
- 化粧品などをシャワーヘッドに付着させない。樹脂製部品にクレンジング剤、整髪料、ヘアカラーなどを付着させたまま放置すると、変色や破損のおそれがあります。万一、付着した場合はすぐに水で洗い流してください。

【使用上の注意】

- 散水板を下に向けた状態で吐水を切り替えると、ノズルが回転しない場合があります。その場合は、シャワー本体を立てた状態で再度吐水を切り替えてください。
- シャワーヘッドは、ぶつけたり、落としたりしないでください。シャワーヘッドの内部には機能部品が搭載されています。落下などにより衝撃を受けると破損し、機能に障害をきたすおそれがあります。
- 瞬間式給湯器の場合、給水温度の高い夏場において、吐水量を少なくして使うと給湯器が着火しないことがあります。この場合には、給湯器の設定温度を下げてください。

次ページにつづく

- 給水圧が 0.2MPa 以上の地域では、水栓の切り替えハンドルを全開にしたとき。吐水の水圧が強すぎる場合があります。その場合は、あらかじめ止水栓で水勢の調節を行ってください。
- 空気を混入するためシャワーヘッド内部で吸気音が発生しますが故障ではありません。
- シャワーを止めたあと、シャワーヘッドからしばらく水が排出されます。これはシャワーヘッド内部の残留水を排出させているためです。数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
- シャワーヘッドを浴槽や洗面器などに水没させたり洗剤などに浸けて洗わないでください。吸気口などから水中のごみや髪の毛、洗剤を吸い込み、詰まりの原因となります。